

◆青年部の概要

(平成 24 年 2 月現在)

青年部の名称	東京ネームプレート工業協同組合 銘青会		
代表者氏名	幹事長 大後 敬		
U R L	なし		
設 立 年	昭和 52 年 (1977 年)	会 員 数	14 名
会 員 資 格 及び定年年齢	東京ネームプレート工業協同組合加入の経営者又は、その後継者及びそれに準ずる者で、満 20 歳以上 45 歳以下の者		
親組合役員への登用の有無	理事会へのオブザーバー参加		

◆組合の概要

組 合 の 名 称	東京ネームプレート工業協同組合		
組 合 の 住 所	東京都台東区竜泉 1 - 2 8 - 4 東ネビル 4 階		
電 話 番 号	03-3874-6121	F A X 番 号	03-3875-0658

PRポイント

銘青会のモットーは「横の繋がりで仕事を増やそう」です。会員間の横の繋がりをしっかりと大切にすることで、自社の専門分野外の仕事が増えても、銘青会の仲間を通じて対応することで、顧客や仕事を増やしていこうと取り組んでいます。

青年部の設立の背景と目的について

ネームプレートといっても、その用途、種類は各種標識、家庭用の標札、会員章、さらに電化製品、電子機器、自動車等のメーカーエンブレムなど様々な製品の部品として重要な役割を占めています。また、素材も金属、樹脂、紙など多様であり、加工技術についても機械的、科学的処理を施すなど多岐に亘っています。このようなネームプレートを制作する組合員企業の間では、次第に仕事の分業化や専門化が進み、得意・不得意分野が明確になり、同じ組合員でも全く異なった仕事をやっている状況でした。設立当時の昭和 50 年代は親組合の組合員も 130 社以上あり、30 代～40 代歳の次世代を担う若手後継者の育成を目的として発足しました。

主な事業活動における成果や今後の目標

主な事業は、見学会、忘年会、納涼会の開催です。何れも、会員の仕事に結びつく事を目的として、メンバー間の横の繋がりを大切にしています。見学会では、メンバー企業や関連業種の事業所の相互見学会の開催や展示会の視察を行っています。また、他の青年部との交流にも積極的に取り組んでおり、サインフォーラム東京（東京屋外広告美術協同組合）、グループ 201（東京スクリーン・デジタル印刷協同組合）、関東ネオン業協同組合青年部、照和会（関東照明器具協同組合）等の他の青年部との合同例会を持ち回りで開催して講習会、懇親会等を通じた相互交流にも取り組んでいます。さらに、東京都紙器工業組合青年会との交流会では、双方から 3 社が出て自社のプレゼンテーションを行い、パッケージ製造分野とネームプレート製品分野という異なる業種でも業務で相互にリンクできる可能性を探る試みも行っています。

青年部活動における課題や今後の方向性

かつては、遊びの要素が強いイメージの青年部活動であったため、後継者といえども親である所属会社の社長の理解が得られず、参加することに躊躇する傾向もありました。しかし、仕事に繋げる活動を中心とした現在の青年部活動についての評価も高まり、青年部メンバーの地道なロコミの努力が功を奏して、一時減少していた会員数も若干増加しています。また、家内工業的傾向が強い組合員企業が多く、その後継者は、同業者を含めて他社との交流が少なかったり、苦手であることを踏まえて、気楽に参加出来る雰囲気作りや環境整備にも努めた結果、社長の理解を得て交流のチャンスを作る事ができるようになりました。今後も活動内容を知ってもらうことで、会員数の増強を図っていくことが当面の課題です。そして、多様化する顧客のニーズに対応出来るように会員相互の情報や得意分野の共有化を図り、それぞれの得意分野を活かしたネットワークを強化し、仕事の相互補完を図って行きたいと考えています。

青年部の特徴として特にアピールしたい点

銘青会の良いところは、活動を通じて遊びの中にも、常に仕事に結びつく話題を互いに提供して高め合っていることです。仕事に関する技術、知識を通じたコミュニケーションで新しいメンバーにも魅力ある、雰囲気の良い青年部を目指しています。